

第 7 次保健医療計画進捗状況について（へき地における医療）

1 取組状況及び今後の展開

小項目	今後の方向（医療計画記載事項）	取組状況	今後の展開
（１）へき地医療支援機構の強化	<div><div>○へき地で医療に従事する医師の情報交換会を開催し、へき地診療所とへき地医療拠点病院の医師同士が連携し、必要に応じて情報交換や専門的支援を受ける関係を構築することで、へき地医療対策の各種事業の円滑で効果的な実施につなげます。</div><div>○無医地区等の現状把握を行い、医療提供体制構築の可能性を検討します。</div><div>○ふくおか地域医療支援サイトを活用し、へき地医療に関する情報発信を行っていくとともに、セミナー等を開催し、へき地医療（地域医療）に対する啓発を行っていきます。</div></div>	<div><div>○全国へき地医療支援機構等連絡会議に、へき地医療支援機構担当医師等が出席し、へき地保健医療計画の進捗状況や各都道府県共通の課題等についての意見交換を実施した。<div><div>・平成 30 年度：第 10 回全国へき地医療支援機構等連絡会議（第 7 次医療計画に基づく取り組み状況の把握について、へき地保健医療対策に関するグループワーキング）</div><div>・令和元年度：第 11 回全国へき地医療支援機構等連絡会議は医療計画中間見直し、無医地区等及び無歯科医師地区等調査の結果の公表の時期を鑑み、延期。</div></div></div><div><div>○平成 30 年度：無医地区を最も多く有する（無医地区 7 か所、準無医地区 1 か所）八女市に現状と今後についてヒアリングを行った。<div>令和元年度：無医地区等及び無歯科医師地区等調査を実施した。</div></div></div><div><div>○福岡県の地域医療の実情を学び、理解を深め、将来、地域医療を担うこととなる学生同士の情報交換を通じ、その連携を促すとともに、地域医療に貢献する意欲を喚起・情勢するため、福岡県地域医療セミナーを実施した。<div><div>・対象者：自治医科大学医学部 1-5 年生、久留米大学福岡県特別枠入学者、久留米大学・福岡大学地域枠入学者、その他県内医学部在学学生で参加を希望するもの。</div><div>・参加者：平成 30 年度 2 0 名 令和元年度 1 7 名</div></div></div></div></div>	<div><div>○引き続き、全国へき地医療支援機構等連絡会議に出席する。</div><div>○令和元年度の無医地区等調査の結果を踏まえ、現状把握を行い、医療提供体制構築の可能性を検討する。</div><div>○福岡県地域医療セミナーを引き続き実施する。参加人数のさらなる増加を図るため、開催時期等の見直しの検討を行う（例年 8 月に実施）。</div></div>
（２）医療従事者の確保	<div><div>○へき地において、安定的に医療を提供するために、当該市町村の医療機関へ自治医科大学卒業医師を派遣するとともに、へき地医療に従事する看護師等、医師以外の医療従事者の確保に努めます。</div><div>○本県における専門医の養成体制が、地域医療に十分配慮されたものとなるよう、関係者で協議を行う都道府県協議会において、専門研修を実施する医療機関（専門研修プログラム）の確認・調整を行います。</div><div>○総合診療専門医に関しては、へき地診療所でも専門研修を行うことができるよう、関係医療機関等との調整を行います。</div></div>	<div><div>○自治医科大学卒業派遣医師数<div><div>・平成 30 年度：10 名</div><div>・令和元年度：8.5 名</div></div></div><div><div>○福岡県医療対策協議会の開催<div><div>・平成 30 年度：1 回</div><div>・令和元年度：5 回</div><div>・第 2 回協議会において専門研修プログラムについて協議</div><div>・第 5 回協議会において、専門医制度整備指針の改訂及びサブスペシャリティ領域専門研修細則案、地域枠医師をシーリング対象外とすることについて協議。</div></div></div></div></div>	<div><div>○引き続き、自治医科大学卒業医師をへき地の医療機関へ派遣する。</div><div>○福岡県医療対策協議会において、引き続き専門医の養成体制が地域医療に配慮されたものとなるよう、協議を行う。</div></div>

(3) 医師のキャリア形成支援	○ 将来、県内の地域医療を担うことが期待されている自治医科大学学生等の医学生に対して、へき地医療の従事に係る動機づけを行うとともに、医師の就業に係るプログラムを策定するなど、へき地医療に従事する医師のキャリア形成支援を行います。	○ 地域医療セミナーの実施（再掲）  ○ 地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安解消、医師確保が困難な診療科等の解消及びへき地等における医師の確保を目的として、県が主体となり策定する就業に係るキャリア形成プログラムを策定した。 ・平成30年度：第1回地域医療対策協議会においてキャリア形成プログラムが承認された。対象者である、久留米大学医学部福岡県特別卒を卒業した地域卒特別医師が9年間の就業期間で取得可能な専門医資格を外科、小児科、産婦人科、救急科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、総合診療とした。自治医科大学卒業医師については、総合診療の取得を可能とした。 ・令和元年度：第5回地域医療対策協議会において、キャリア形成プログラムに自治医科大学卒業医師が取得可能な専門医資格に内科が追加された。	○ 福岡県地域医療セミナーを引き続き実施する。参加人数のさらなる増加を図るため、開催時期等の見直しの検討を行う（例年8月に実施）。（再掲）  ○ キャリア形成プログラムを基に、引き続き、へき地医療に従事する医師のキャリア形成支援を行う。
(4) ICTを活用した遠隔診療の整備	○ 常勤医師を確保できない地域において、医療を提供することができる体制を構築するために、ICTを活用した遠隔診療の整備促進に努めます。	○ 医療設備整備費補助金 ・遠隔診療医療設備整備事業 ・へき地・離島診療支援システム設備整備事業 平成30年度、令和元年度ともに実績なし。	○ 引き続き、補助希望を募ることに加え、へき地医療支援会議等でも、遠隔診療について協議を行う。

2 数値目標の達成状況

目標項目	現状（H28）	H30	R1	R2	R3	R4	R5	推移	目標値（R5）
へき地医療拠点病院の数	8 病院	9 病院	10 病院						10 病院
へき地医療拠点病院による代診医派遣の日数	419.5 日/年	535 日/年	580.5 日/年						523 日/年
取組状況（目標値達成のために実施している施策(事業)等）	へき地医療拠点病院による無医地区等への代診医派遣に必要な経費の補助。								
今後の取り組み方針（今後の方向性等）	へき地医療拠点病院による無医地区等への代診医派遣が継続して行われるよう、引き続き経費の補助を行う。								

推移：（改善）上斜矢印 （横這い）横矢印 （悪化）下斜矢印

3 進捗評価

達成状況	進捗総合評価（A～E）	理由
	B	平成30年度と令和元年度で計画記載の事項については取り組みを進め、数値目標についても進捗は順調である。 今後は、令和元年度の無医地区等調査の結果を踏まえての現状把握を行い、へき地の医療提供体制を検討する必要がある。

A：達成 B：順調に進捗（数値の変化が見られない場合であっても施策の実施状況等から順調と判断できるものを含む） C：引き続き施策を実施 D：未着手等策(事業) E：その他